

10 弾道ミサイル発射に係わる対応について

Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合

行動の基本
「姿勢を低くし、頭部を守る」

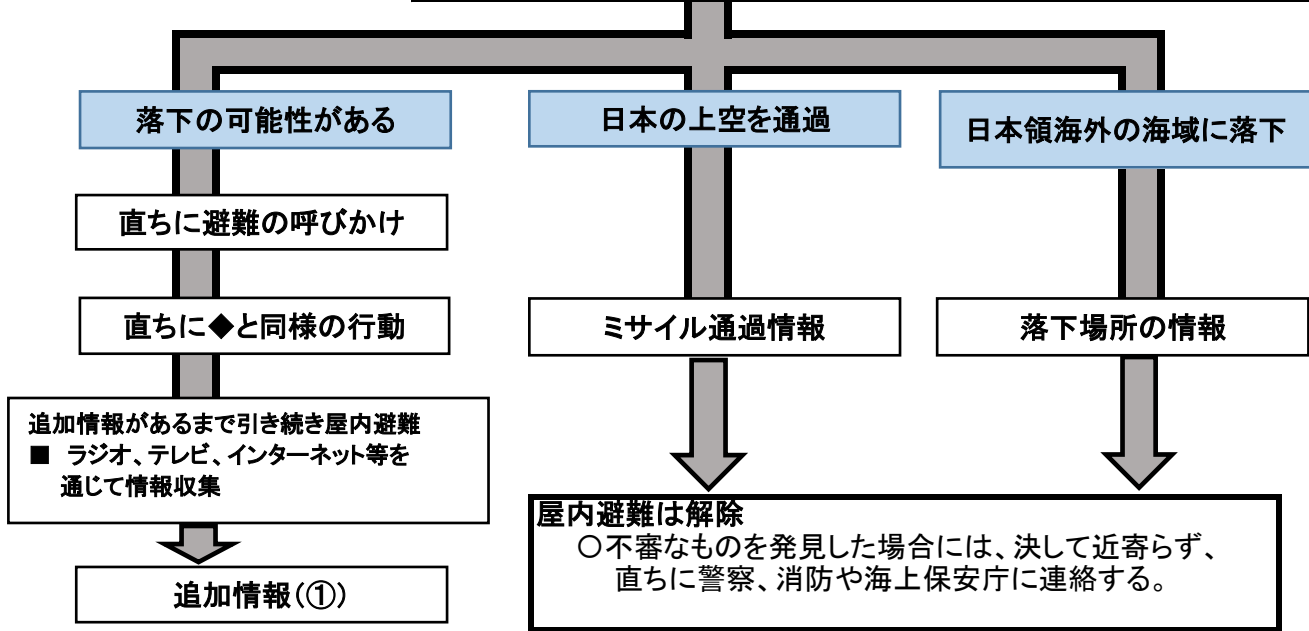
弾道ミサイル発射情報・避難呼びかけ

直ちに避難。
直ちに避難。
直ちに建物の中、又は地下に避難してください。
ミサイルが落下する可能性があります。
直ちに避難してください。

◆ 避難行動

【屋外にいる場合】
○近くの建物の中や地下に避難し、床に伏せて頭部を守る。
(できるだけ丈夫な建物に避難する。)
○近くに避難できる建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】
○できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する
○伏せて頭部を守る



- ※ ①追加情報への対応
 - 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
 - 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ※ ②校外活動の場合
 - 屋内にいる場合でも、より頑丈な建物や地下があれば直ちにそちらに避難する。
 - 校外活動に際しては、計画の段階で様々な危機事象の発生も想定しておく。
活動場所での避難場所・情報伝達方法・対応及び事前指導を行う。
- ※ ③登校中や自宅にいる場合の対応
 - 児童が、そのときに入手した情報に基づき対応できるように事前指導を行う。
 - 教職員は、児童の安全確認を速やかに行う。